

研究課題名	症候性中程度頸部内頸動脈狭窄症（狭窄率 70%以下）における外科的治療成績に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
研究期間	許可日～2029 年 3 月 31 日
対象者	2018 年 1 月から 2028 年 12 月の間に広島大学病院脳神経外科及び県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科にて内頸動脈狭窄症に対して、外科的治療を受けられた患者さん。
意義・目的	頸動脈狭窄症に対する外科的治療には内頸動脈内膜剥離術と頸動脈ステント留置術が広く行われています。これまでの報告ではいずれも良好な脳梗塞予防効果が認められます。しかし、血栓塞栓症が脳梗塞の原因と考えられる症候性中程度狭窄（狭窄率 70%未満）の方のみに焦点を当てた治療成績の報告はほとんどありません。その治療成績をあきらかにし検討することで、症候性中程度狭窄の患者さんに対する治療の効果と安全性について検討することを目的とします。
方法	本研究は診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、年齢、性別、リスクファクター、症候性か否か、狭窄率、反対側の閉塞の有無、画像（MRI）でのプラーク性状、治療手技、治療中の塞栓子の捕捉率、術後の MRI 検査での虚血病変の有無、神経学的症状出現の有無などです。 取得した情報は、各施設において氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに研究用の符号をつけ、どなたのものかわからないようにして研究に用います。 上述のように誰のものかわからないように加工された情報は、共同研究施設とパスワード付きのファイルにてメールおよびパスワード付きの電子媒体を用い直接共有し、両機関にて解析に用いられます。
研究の実施体制	研究代表機関・代表者 広島大学医系科学研究科脳神経外科 教授 堀江 信貴 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 共同研究機関・責任者 県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科 主任部長 富永 篤 研究機関の長 板本 敏行
利用または提供を開始する予定日	本院における実施許可日
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定できる形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をおかけすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合にはお申し出ください。お申し出をいただいても不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報やそれに基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。

す。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257- 5227

広島大学病院脳神経外科 助教 近藤 浩